（記入例）

（別紙）**指定給水装置工事事業者　指定更新時確認項目**（太枠の中のみ記入し

法人：代表者印
個人：申請者印

会社名（氏名）　**〇〇設備株式会社**　㊞
代表者氏名　**代表取締役　●●　●●**
二本松市金色403番地1
郵便番号・住所　〒**964-0915**

電 話 番 号　**0243-23-▲▲△△**
ＦＡＸ番号　**0243-23-XX●●**

①　指定給水装置工事事業者の業務内容

確　認　項　目	※水道事業者確認欄
休業日、営業時間等について記載してください。 (1)　休業日：**日曜日、祝日、年末年始（12/28～1/3）、GWに連休あり** (2)　営業日：**月～土** (3)　営業時間：**9～17時** (4)　修繕対応時間：**9～17時　緊急の場合は要相談**	□
上記業務内容を、市のウェブサイトで公表してもよいですか。（ 可 ・ 不可 ）	□
漏水等修繕対応について、可能な修繕等について記載してください。 (1)　屋内給水装置の修繕（ 可 ・ 不可 ） (2)　埋設部の修繕（ 可 ・ 不可 ） (3)　その他（　　）	□
上記業務内容を、市のウェブサイトで公表してもよいですか。（ 可 ・ 不可 ）	□
対応工事種別について記載してください。 (1)　配水管からの分岐～水道メーター（ 新設 ・ 改造 ） (2)　水道メーター～宅内給水装置（ 新設 ・ 改造 ）	□
上記業務内容を、市のウェブサイトで公表してもよいですか。（ 可 ・ 不可 ）	□

（記入例）

過去５年以内の受講状況

② 給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去５年以内）

過去５年以内に、主任技術者が受講した研修会等について記載してください。 なお、「受講を証明する書類（受講証など）」の写しを付けてください。			※水道事業者確認欄
受講者氏名 （公表しません）	研修会名、実施団体	受講年月日	
●● ◎◎	給水工事振興財団 ｅ-ラーニング	令和２年７月 28 日	□
△△ ▼▼	自社内研修 給水装置に関する事故防止 ついて	令和３年７月 20 日	□
			□
			□
			□
			□
			□
			□
上記内容（受講者氏名は公表対象外です）を、市のウェブサイトで公表してもよいですか。（ 可 ・ 不可 ）			□

ｅ－ラーニングで実施の場合は、終了年月日をプリントアウトしたものを提出ください。

自社内研修の場合は申し出のみとします。

公表を「可」とした場合であっても、受講者氏名は公表しません。

（根拠法令）水道法施行規則第３６条

法第２５条の８に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

４ 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施行技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

（記入例）

③　適切に作業を行うことができる技術を有する者の状況

					※水道事業者確認欄
(1)　配水管からの分岐　～　水道メーターまで　の工事を施工していますか。（ はい ・　いいえ　） 「はい」　→　下記について記載してください。 「いいえ」　→　確認項目は以上で終わりです。					□
(2)　過去１年以内の給水装置工事に主に従事した、適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況について記載ください。					
技能を有する者の氏名 （公表しません）	配水管への分水栓の取付・せん孔・給水管の接合、いずれの経験も有しているか （○×を記入）	資格等を有しているか （○×を記入）	保有している資格等	工事年度	
●●　◎◎	○	○	講習会修了者	R３	□
△△　▼▼	○	○	検定会合格者	R３	□
●●　××　　給水装置工事に主に従事した者の氏名を記載してください。下請けも含みます。	○	×　　資格を有していなくても、経験があれば記入してください。		R３	□
					□
					□
上記内容（技能者氏名は公表対象外です）を、市のウェブサイトで公表してもよいですか。（ 可 ・ 不可 ） 公表を「可」とした場合であっても、受講者氏名は公表しません。					□

（根拠法令）水道法施行規則第

法第２５条の８に　　置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以

２　配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。